

■ 施策評価シート

施策番号	19-01-①
施策名	中心市街地のにぎわいの創出

<p>施策の概要</p> <p>中心市街地の人口集積と高い利便性、魅力ある資源を生かして、地域力の高まりを導く事業に適切な支援を行うとともに、事業展開へも積極的に関与していきます。</p>

成果指標(単位)	”中心市街地”に魅力があると思う市民の割合(%)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		31.0	32.0	33.0
実績値	29.3	28.8		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市民意識調査の結果、前年度より0.5%減少し、目標値にも2.2%及ばなかった。宿場町としての街並み景観は着実に形成されているが、昨年度は宿場街道景観形成事業の申請が1件にとどまり、これまでの実績に比べると低下したが、ニワタスがオープンし、中心市街地の魅力向上のための施策を行ったにもかかわらず、市民の評価は低下している。今後も関係課と連携しつつ、市民ニーズに合わせた事業を行う必要がある。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>平成26年度においては、「宿場街道景観形成事業」を継続実施し、建築物1件のファサード整備に対して支援を行った。また、地元町内会に対して制度の説明を行い、事業の実施を呼びかけ住民へのさらなる周知を行った。宿場町としての街並み景観は着実に形成されてきており、今後も制度未実施の建築物の動向に注意しつつ、事業を進めていく。</p>

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>宿場街道景観形成事業については、中心市街地活性化基本計画における具体的事業であることから、中心市街地活性化協議会、まちづくり会社、まちなか再生課・都市計画課と連携を取りながら進めていく。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
商店街活性化推進事業	商工観光労政課	○	宿場町としての街並み景観は着実に形成されている。対象エリア内にある物件は、建替え・改築などの都度に制度の活用を呼びかけを行っている。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	19-02-①
施策名	研究開発人材の連携と協働の基盤づくり

<p>施策の概要</p> <p>人材交流の基盤、研究開発人材の定着しやすい環境、経営者や若手現場技術者の育つ環境づくりを進めるとともに、ものづくり教育の推進を図ります。</p>

成果指標(単位)	コーディネータによるマッチング数(件)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		10	10	10
実績値	13	13		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>産業支援コーディネータの主に企業訪問によるマッチングに関する対応の結果、産学間7件、企業間6件の計13件について新たなマッチングの機会を創出することができた。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>市内企業や大学、ベンチャー企業等の間における日常的な交流、連携の機会の創出により、ものづくりや研究開発に適した環境づくりの推進に寄与することができた。</p>

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>引き続き、企業訪問等により産学官金の連携、各種支援制度の活用、関係支援機関の活用について促進を図っていく。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
産業支援コーディネータ配置事業	商工観光労政課	◎	市内企業を訪問し、産学間、企業間のマッチングを計13件創出できた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	19-02-②
施策名	付加価値の高い商品を製造する企業(機能)の誘致と集積促進

施策の概要	
草津市工業振興計画に位置づけた「マザーファクトリー」の立地促進を図り、付加価値の高い商品を製造する企業の集積を図ります。	

成果指標(単位)	誘致企業数(企業)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		1	1	1
実績値	1	0		

成果指標実績に対するコメント
問い合わせはあるものの、大池事業用地の売却により市内にまとまった工業用地がなくなったため、魅力的な企業誘致を行うことができなかった。

施策の達成度評価
草津市工業振興計画に基づく施策を展開し、付加価値の高い商品を製造する市内企業の拡張等を支援することができた。 平成25年度から平成27年度の期間限定事業である中小企業節電対策等設備投資補助金については、景気の足踏みや3年間補助の中間年度ということもあり、平成26年度の利用件数は2件と少なかったが、平成27年度に活用を検討している事業所からの相談が7件あった。

評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方
大池事業用地の売却により市内にまとまった工業用地がなくなったことから、県や金融機関と連携を図りながら、新たな工業適地、工業用地の確保に向けた取組みについて検討を行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
工業振興事業	商工観光労政課	△	企業誘致を行うことができず、中小企業節電対策等設備投資補助金についても、消費税増税による景気の足踏みと、3年間補助の2年目で平成27年度に検討するとした事業所も多く、3件の実績にとどまった。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
滋賀県経済振興特区事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	19-02-③
施策名	新産業の創出

<p>施策の概要</p> <p>ビジネス・インキュベーション施設や技術力の高い中小企業等の集積を生かし、支援機関等と連携しながら、新たな産業の創出を促進します。</p>

成果指標(単位)	大学連携型起業家育成施設入居補助件数(件)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		23	23	23
実績値	22	17		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>立命館大学BKCインキュベータ(全30室)に入居している起業家に対し、17件の補助を行った。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>県や立命館大学等と連携しながら、補助要綱に基づき補助を行い、経済基盤の弱いベンチャー企業の負担軽減を図り、新たな産業の創出に寄与することができた。</p>

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>引き続き、技術力の高い企業の集積と定着を図るため起業家支援を行うとともに、立命館大学BKCインキュベータが開設から10年を経過しており、今後の運営等について中小企業基盤整備機構、立命館大学、県と協議を行う。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
起業家育成補助事業	商工観光労政課	○	平成22年度の補助件数22件であり、それ以上の件数を目標としているが、平成22年から平成24年の平均補助件数は、16.3件であり、平年並みの結果となった。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	19-02-④
施策名	中小企業の技術向上と経営革新の支援

<p>施策の概要</p> <p>優れた技術等を有する企業の対外発信強化と販路開拓・拡大の支援を行うとともに、首都圏等で開催される展示会出展の支援や、企業訪問活動などを通じてビジネスマッチングを図ります。</p>

成果指標(単位)	首都圏における産業展出展企業数(企業)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	2	2	2
実績値	5	2		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>大津・草津地域産業活性化協議会の販路開拓支援事業として、例年、大津市2企業、草津市2企業、合計4企業の東京出展を行っており、平成26年度については、大津市2企業、草津市2企業、合計で4企業の出展となった。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>首都圏で開催された展示会への出展により販路拡大を図るとともに、マネジメントスクールを5回開催し、経営革新の支援を図れた。</p>

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>引き続き、首都圏等で開催される展示会出展により大津市・草津市の優れた技術等を発信し、販路拡大を図るとともに、マネジメントスクールの開催等により経営革新の支援を行う。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
大津・草津地域産業活性化協議会事業	商工観光労政課	○	首都圏における2企業の出展のほか、人材育成事業としてマネジメントスクール事業を5回実施した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	19-03-①
施策名	小地域ごとの商業基盤の確保

<p>施策の概要</p> <p>事業者の活動基盤である事業体との連携を強固なものとし、地域活性化に様々な寄与する事業の実施に協働で取り組みます。</p>

成果指標(単位)	買い物する環境が整っていると思う市民の割合(%)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		72	73	74
実績値	68.5	71.7		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市民意識調査の結果、前年度より3.2%上昇した。前年度より成果指数は増加したことで概ね目標値に近い値になったことから、市民の満足度は高いと考える。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>市内全体を踏まえると、商業基盤は各地域の大型商業施設の充実により市民意識として満足度が高いことが推測されるが、独居高齢者等の買い物難民等の対応や小規模事業者への支援に関しては、他市の事例等も参照しながら本市に見合う商工支援についても検討する必要があると思われる。 商工関係団体への補助事業による各種施策は商工会議所会員で構成する部会・委員会などの運営及び講演会、各種講座の開催費等に対する支援であり、継続して実施しているところである。また、催事等での地域活性化に寄与する事業の支援は予算に見合う規模で実施したところであるが、内容の精査も必要である。</p>

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>担保・保証人がなく金融機関から融資が受けられない市内小規模企業者に対して、円滑な資金供給を行い、経営基盤の強化を図っていくよう継続して取り組んでいく。 納涼まつりやみなくさまつりについては、商店街や地域の活性化を目標に事業展開を図っており、継続して支援していく必要があるが各実施主体に対しては当該事業への支援が、一年間を通じた活動に変化が伴うように効果的な催しとして取り組むよう働きかけていく。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
小規模企業者小口簡易資金貸付事業	商工観光労政課	○	平成26年度において利用者は1件であったが、他の貸付事制度等を利用されていることが予想されているが、制度の変更等発生した際に対応できるよう事業を継続する必要がある。
商工団体等活動費補助事業	商工観光労政課	○	納涼まつりやみなくさまつりの開催の支援を行い、地域活性化に寄与した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
観光物産協会活動費補助事業(物産振興)	商工観光労政課
商工業振興対策事務	商工観光労政課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	19-04-①
施策名	観光資源の活用と草津ブランドの育成

<p>施策の概要</p> <p>広域連携型事業や地場産業と連携した体験型観光事業等の展開や草津ブランドの育成を図ります。</p>

成果指標(単位)	まちに誇れるもの(ブランド)があると思う市民の割合(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	21	22	23
実績値	20.7	21.3		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市民意識調査の結果、前年度より0.6%上昇し、平成26年度の目標数値を達成することができた。まちに誇れるブランドについては、現時点での市民の対象把握は、困難であるが、意識調査のポイントは上昇しており、今後も草津の「ブランド」についての定義づけと認知度向上に向けた取り組みを関係課と共に努めていきたい。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>限られた観光資源として、県内他都市に比べて、素材には強さが欠けるものの、組み合わせによって、そのポテンシャルを伸ばすことは可能であり、従来の観光振興策と併せて、着地型の観光スタイルと草津らしさを体感できる事業を展開することにより、ポイントを上げる余地はある。</p>

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>観光物産協会ホームページにて草津市の特産品や伝統食品の写真や情報を掲載しPRを行う。また、平成26年度からオンライン販売も開始しているが、今後は販売できる特産品の種類を増やすため、開発に努めていく。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
観光物産協会活動費補助事業 (観光振興)	商工観光労政課	○	観光パンフレット作成事業や地域観光資源発掘事業、熱気球搭乗体験事業などの草津市の観光振興を図るため、草津市観光物産協会への支援を行った。「観光入込客数」については、昨年約1,979千人であったが、平成26年度実績として、約2,066千人となり、宿場まつりやイナズマロックフェスの観光客の増加に伴い、87千人の観光客数の増加があった。
みずの森管理運営事業	公園緑地課	○	老朽化した施設を計画的に改修するとともに、植物栽培管理の適切な指導助言を行った。また、絶滅危惧植物の保存、ハスやスイレンなどの品種管理を適切に行った。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
広域観光事業	商工観光労政課
烏丸半島維持管理事業	公園緑地課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待通りの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	19-04-②
施策名	出会いとふれあいの魅力の発信

<p>施策の概要</p> <p>観光ボランティアガイドや地域の観光資源・イベントなどを活用し、出会いとふれあいに満ちた本市の魅力を発信します。</p>

成果指標(単位)	観光の振興に満足している市民の割合(%)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		27	28	29
実績値	25.5	27.6		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市民意識調査の結果、前年度より2.1%上昇した。観光振興の満足度は上昇しており、引き続き満足度の向上に繋がる事業を継続する。今後はさらに、観光物産協会ボランティアガイド等の関係諸団体との連携を密にし、観光客を迎える体制を強化していきたい。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>宿場まつりは本市の観光振興の中核的事業であり、本年は市民の来場者はもとより、市外からの入客数も増加した。今後も市内外に草津の魅力を発信するため力を入れて事業を進めたい。また、JR草津駅構内の観光案内所、まちなか交流施設くさつ夢本陣においては観光客の案内を行い、観光情報の発信拠点としての機能を果たした。</p>

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>宿場まつりについては、今までのノウハウを引き継ぎ、問題点をフィードバックしながらより魅力的なまつりを演出できるよう取り組みを進める。観光振興については、既存の観光資源の活用に努めながら、地方創生の観点から地域文化の観光資源化を進め、市外には草津の魅力の“発見”を、市内には“再発見”を促すよう事業を推進していく。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
宿場まつり開催費補助事業	商工観光労政課	○	宿場まつりはこれまで、街道主体のまつりであったが、平成24年度から草津川跡地を利用することにより、新たな展開を行ってきた。本年の来場者数は約8万人となり、市民に草津への愛着を深める機会を提供するとともに本市の観光振興に大きく寄与した。
観光宣伝事業	商工観光労政課	○	草津らしさを感じることでできる観光PRポスターを製作し、情報発信に努めた。また、びわこビクターズビューロー等と連携し、全国の観光キャンペーンに参加した。さらに、近隣の自治体と連携し烏丸半島のハスのPRを行った。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
観光振興事務	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	19-05-①
施策名	勤労者への支援

<p>施策の概要</p> <p>「草津市勤労者福祉基本方針」に基づいて、勤労者の福祉の増進に向けた支援を図ります。</p>

成果指標(単位)	勤労者福祉事業への利用者数(人)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		5,700	5,750	5,800
実績値	5,627	5,554		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>補助金を交付している各勤労者福祉団体が実施する各事業の利用数は5,554人であった。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>各勤労者福祉団体において、平成25年度と平成26年度において重複している事業が多くなったために利用人数が減った。</p>

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>引き続き、各勤労者団体へ補助金を交付し、勤労者福祉に資する。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
勤労者福祉団体育成事業	商工観光労政課	○	各勤労者福祉団体において、平成25年度と平成26年度において重複している事業が多くなったために利用人数が5,554人となり、昨年度より減少したが、目標値の97%の達成率であった。
勤労者福祉施設運営審議会事業	市民交流プラザ	○	勤労者福祉施設の運営その他必要な事項を審議し、適正な管理を維持することが出来た。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
市民交流プラザ運営事業	市民交流プラザ
各種講座開設事業	市民交流プラザ
市民交流プラザ施設維持管理事業	市民交流プラザ

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。